

第13回 福利・にぎわい検討会議 議事要旨

1 日 時 令和6年10月31日(木) 午後7時から午後9時

2 場 所 西成区役所4-5・7会議室

3 出席者

(有識者)

寺川 近畿大学准教授、松村 阪南大学教授、福原 大阪市立大学名誉教授、
永橋 立命館大学教授、村上 大阪大学教授、垣田 大阪公立大学教授、水内
大阪公立大学客員教授

(行政関係者)

【事務局(西成区)】

石田 総合企画課長、式地 まちづくり推進担当課長、竹内 総合企画課長代理、
今田まちづくり推進担当課長代理、伊東まちづくり推進担当課長代理、他6名

(地域メンバー)

大倉 萩之茶屋第3町会長、山田 大阪府簡易宿所生活衛生同業組合 相談
役、山田 NPO法人釜ヶ崎支援機構 理事長、村井西成区商店会連盟 会
長、山田 NPO法人サポーターズハウス連絡協議会 代表理事、松井氏
(小林 公益財団法人西成労働福祉センター 業務執行理事の代理)、山中
釜ヶ崎日雇労働組合 委員長、泊氏(野崎 全日本港湾労働組合関西地方
本部建設支部西成分会 代表の代理)、水野 日本寄せ場学会 運営委員、
ありむら 釜ヶ崎のまち再生フォーラム 渉外担当、小林 新型コロナ・住
まいとくらし緊急サポートプロジェクト OSAKA 責任者

4 議題

- (1) あいりん地域におけるワンストップ相談窓口等の検討状況について
- (2) センター跡地等の利活用にかかるこれまでの議論・検討プロセス及び、今後の「にぎわいの創出」機能の検討について
- (3) 第12回福利・にぎわい検討会議 要旨（案）について

5 議事要旨

議題（1）あいりん地域におけるワンストップ相談窓口等の検討状況について

資料2 ワンストップ相談窓口等の検討状況について

・質疑なし

議題（2）センター跡地等の利活用にかかるこれまでの議論・検討プロセス及び、今後の「にぎわいの創出」機能の検討について

資料3 センター跡地等の利活用にかかるこれまでの議論・検討プロセス

資料4 事業スキームについて（素案）

資料5 今後の「にぎわいの創出」機能の検討について

・主な質疑要旨は次のとおり

- おっちゃんの居場所について、30坪ぐらいのスペースを確保すると一応合意ができていると思うが、その合意内容について再度確認したい。
- ⇒（事務局）多目的ホールの一部を活用していただこうと考えている。30坪ぐらいのスペースについて次回までに調べて回答させていただく。
- 西成区保健福祉センター分館、西成市民館がバリアフリーになっていない。あいりん総合センター跡地等北側に作って欲しいと伝えているがどうなっているのか。
- ⇒（事務局）1,044㎡の福利施設に分館、市民館が入る予定は無い。
ワンストップ相談窓口については、今後、必要な機能について就労福祉専門部会に報告する。その場で分館、市民館の機能移転についてのご意見が出れば議論いただくこととなる。
- 福利機能を民間に任せて上手くいくのか。
- ⇒（事務局）民間企業の中には、福利機能を担うことで地域貢献になると考えるところもあるので検討していきたい。
- 大阪社会医療センターの療養病棟は約束どおり作られたが、現在は人手不足を理由に療養病棟から地域包括支援病棟に変わっている。同じように民間企業に福利機能任せることで約束が果たされない可能性があるのではないか。

- ⇒（寺川座長）大阪社会医療センターについては別の機会で担当者から説明していただける場を設けたい。
- 今後の「にぎわいの創出」機能の検討について、資料の北側宅地とはどこのことか。
- ⇒（事務局）資料４の緑部分の市有地で４,０００㎡ある。
- 「食」をテーマとしたチャレンジショップは、利益が出て経済的な自立ができるのか検証が必要だと思う。
- ⇒（事務局）今回、「食」をテーマとした事務局案を提示した。西成は飲食店が多いので、「食」をテーマにチャレンジしてはどうかと考えている。今後、事業者ヒアリング等を実施して参りたい。
- 民間企業が手を挙げなかった場合は、永遠に実現しない可能性があるのではないか。
- ⇒（事務局）公募して手が上がらなければ、条件を変えて再公募をする。
- 過去に事業者ヒアリングを実施していたのではないか。
- ⇒（事務局）事業者は、機能を担っていただける事業者、開発する事業者の２つに分かれる。令和３年に開発事業者にマーケットサウンディングを実施している。
- この土地を開発していきたいというニーズは聞けていないが、今後、良い方向に持っていけるように検討していきたい。
- 令和３年に実施した開発事業者のヒアリング内容をもう一度教えていただきたい。
- ⇒（事務局）手元に資料が無いので次回説明させていただく。

６ 会議結果

- ・あいりん地域におけるワンストップ相談窓口等の検討状況について時点報告を行った。
- ・センター跡地等の利活用にかかるこれまでの議論・検討プロセス、事業スキームについて再確認を行った。
- ・今後の「にぎわいの創出」機能の検討について事務局案を説明しご意見を把握した。

７ 会議資料

- 資料１ 福利・にぎわい検討会議委員名簿
- 資料２ ワンストップ相談窓口等の検討状況について
- 資料３ センター跡地等の利活用にかかるこれまでの議論・検討プロセス
- 資料４ 事業スキームについて（素案）
- 資料５ 今後の「にぎわいの創出」機能の検討について

資料6 第12回福利・にぎわい検討会議【議事要旨】

参考1 福利機能配置イメージ案

参考2 多目的広場ワークショップでのご意見を踏まえた利活用イメージ案

参考3 「にぎわいの創出」機能（案）について

参考4 チャレンジ・再チャレンジの取組事例

以上